

流れと接したバイオマテリアルの水和構造分析



森田 成昭

大阪電気通信大学・教授

材料が液体と接触することで発現する特異的な物性を究明するために、官能基レベルの分子情報が得られる赤外分光法を用いて研究を行っています。本研究では、生体内におけるバイオマテリアルの生体適合性発現機構を理解するために、バイオマテリアルと接触した水や水溶液に流れを与えた状態で赤外スペクトルを測定できるようにし、様々な条件下で得られるスペクトルを詳細にデータ解析することを試みます。これにより、流れによって変化する分子構造や分子相互作用を明らかにし、水圏機能材料の理解を深めます。

